

【別紙1】

令和6年度生命(いのち)の安全教育 報告書

園名・学校名 長崎県立長崎工業高等学校

実施日 令和 6年 9月 6日(金) 13:25 ~ 15:15 (110分)

場 所 本校 第1体育館

講 師 役職: 日本思春期学会性教育認定講師 長崎性教育コミュニティアスター共同代表

形 態

・授業(教科:) **・講話**

・職員研修等(職員対象) ・その他()

参加者	幼児・児童生徒 学年(2学年)	園・学校職員	保護者	その他 (アマランス他)
	(311)人	(30)人	(2)人	(3)人

テーマ

思春期の身体、こころ、社会性の変化について理解を深めるとともに、生命を大切にする気持ちを育てること、男女がお互いを理解し、望ましい人間関係を築くことができるようになることを目的とする。また、性に関する情報への対処など適切な意志決定や行動選択が必要であることを理解できるようにする。

内 容

内容(具体的に)

パワーポイントのスライドを見ながら、わかりやすく説明

- ・男女の体の仕組みの違い
- ・性交・妊娠・中絶、緊急避妊
- ・SNSで気を付けること
- ・人付き合いでの対等 バウンダリー(境界線)
- ・プライベートパーツ(傷つきやすい脆い皮膚粘膜部分)
- ・SOGI(性的指向・性自認)
- ・性行為感染症の広がり(水とアルカリ性溶液を用いて視覚的に理解)
- ・避妊具(コンドーム)を教材として配付

＜成果や幼児・児童生徒の行動変容等＞

- ・水とアルカリ性溶液を用いての実験で、水溶液を交換することにより、性行為感染症の広がりを視覚的に理解するための実験が、変色せず失敗したため説明のみに終わったが、その失敗がかえって、多くの生徒たちが関心を示す結果となり、性行為感染の広がりについて想像しながら考えるきっかけになったようだ。
- ・ネット等の情報に振り回されず正しい知識を養い、お互いを思いやる気持ちを大切にする、自分の体は自分で守るなど、今後の生き方につながる感想が見られた。
- ・避妊具(コンドーム)を教材として配付したが、不要と判断する生徒からは回収することとし、保健室前に回収ボックスを設置したが、返却したのは2名のみだったことから、自身の性の行動選択について考える貴重な機会となったのではないかと評価する。

＜今後の課題と自校(園)の取組等＞

- ・ 今回の講話に対する職員・生徒からの意見をもとに、今後も専門的立場からの講演会を計画し、健康教育推進に尽力していきたい。
- ・ 家庭での教育が難しい性教育について、専門家からの講話を聴講することにより、それぞれが正しい知識を身につけ、性に関する情報への対処と適切な意思決定ができることを目的とし、将来について考える貴重な機会をつくっていききたい。

＜当日の様子＞ * 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



講師の中山安彩美先生。パワーポイント資料で分かりやすく説明していただき、生徒の緊張をほぐすように優しく、和やかな空気が漂う。



最初に講師の先生から「ラフな感じで聴いていいからね、水分補給も適宜どうぞ」と促して下さったことで、生徒はリラックスしながらも興味深く聴講していた。



講師から水の交換実験について説明



保健委員生徒と講師による水溶液の交換実験中

◎行が足りない場合は、適宜行を追加していただいて構いません。提出は、データをお願いします。

※報告書は、県児童生徒支援課HP(実施校全て)に掲載します。画像は、生徒個人が特定できないように配慮してください。